

## 古典紹介・解説

### 皇甫府君碑⑤

橋本 圭風

今回は条幅作品を書く上でのポイントをいくつか挙げましたが、実際に書いてみましたか？ 思ったより、うまくまとまった人、全然入りきらないほど大きくなったり、逆に小さく書いて下が余った等、いろいろだと思います。やはり書いて馴れることが重要です。更に段級が上になる程、審査する方も厳しくなります。今までは等間隔で中心が取れていて全体感が良ければ昇段しましたが、それプラス臨書としての皇甫府君碑の用筆法はできているのか、墨量は適切か、等、より多くのことが要求されます。今一度確認してみましょう。

### 集字聖教序⑤

畠中 香風

春の検定課題が発表になりました。まず、課題箇所をしっかりと半紙で練習し、次に条幅に向かいます。条幅では全体感が重要なポイントになります。

①文字から文字への呼吸をつなぎ気脈を通す。②字間、行間に気を配る。③紙に対して墨の濃さ、書く速度が合っているか点検する（合わなければ渴筆が多くなったり、にじんだりして減点になってしまう恐れがあります）。④落款も作品の一部です。作品に調和するよう気を配り押印する。

何度も先生の添削を受け仕上げましょう。